

議会だより

ひだか

第168号

令和4年1月25日



ボランティア 幸かさなる 顔と顔



おめでとう新成人

子育て世帯への臨時給付金	補正予算・条例	2～3
町長選挙への出馬は	一般質問	4～9
通学路の安全性確保を	委員会レポート	10

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

12月定例会

令和3年第4回定例会は12月8日から16日までの9日間の会期で開催した。

今定例会では、令和3年度補正予算・条例など議案12件、報告1件、請願1件、発議1件について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決した。

令和3年度一般会計補正予算

既定の予算額に2億4470万9千円を追加し、総額49億3347万5千円とする。

ー 主な内容ー

子育て世帯への臨時特別給付金で1億5184万円、ふるさと納税返礼品など関連費で2998万5千円、小規模土地改良事業費で100万円、志賀小学校グラウンド修繕費で330万7千円、小浦公民館のトイレ修繕費で336万5千円、台風14号による災害復旧費（農地2件・農業用施設3件・道路3件・河川2件）で3312万3千円、などの増額。

臨時特別給付金

子育て世帯への臨時特別給付金の説明を。

子育て福祉健康課長

10万円を一括給付する。対象世帯に申請の必要の有無を通知し、申請が不要の世帯には12月24日に振り込む予定である。申請が必要な世帯には1月11日以降の振り込みとなる。

旧比井小学校跡地利用

旧比井小学校の賃貸料について説明を。

企画まちづくり課長

令和4年2月と3月の分で、21万2千円を歳入に追加したもの。



排水改良工事を行う志賀小学校グラウンド

小浦公民館トイレ修繕

小浦公民館のトイレの修繕について説明を。

教育課長

故障している便器を含む和式便器4つを洋式にし、男性用小便器を自動水洗に改修するもの。

志賀小学校グラウンド

志賀小学校グラウンド修繕費の説明を。

教育課長

仮設校舎の撤去後、グラウンドの排水



復旧工事を待つ被災した道路（原谷）

が悪くなったため、排水溝の整備とグラウンドの不陸整正を行う。

工期は約10日間を予定している。

災害復旧

公共土木施設災害復旧費の詳細説明を。

産業建設課長

台風14号で被災した道路3件（原谷・上志賀・中志賀）と河川2件（荊木・萩原）の復旧費用。

浄化槽設置整備事業

浄化槽設置整備事業費補助金の増額について説明を。

上下水道課長

志賀地区や内原地区の農業集落排水事業エリア外で宅地造成が進んでいるため、想定以上の補助金申請があった。

条例改正

令和4年4月1日施行

日高町 保育所条例

◇比井保育所廃所

現在休所となっている比井保育所を廃所とする。4月以降は日高町の文化財の展示や、地域のコミュニティスペースなどに活用することを検討する。



日高町国民 健康保険税条例

◇国民健康保険税

- ・未就学児の均等割額を半額に。
- ・資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割の3方式とする。
- ・納期を10期から9期に変更する。

第3回臨時会

主な内容

◆人事院勧告に従い、職員の前末手当を1年間で0・15カ月分を引き下げる。
◆議員報酬の前末手当を1年間で0・15カ月分を引き下げる。

難聴者の補聴器購入への 公的支援を求める意見書

難聴はあらゆる世代に発生し、社会生活において様々な困難をもたらしている。

乳幼児期や学齢期の子供の難聴を放置しておく、言葉やコミュニケーション能力の発達に遅れが生じるおそれがある。

また、成育途中や成人してからも、様々な疾病等により難聴となり、日常生活や社会生活等で支障が生じている人もいる。

加齢に伴って発症する難聴は認知症やうつ病の発症につながり、要介護状態に至るリスクも高いといわれている。

コミュニケーションの重要な役割を担う聴覚機能の維持や、将来の医療費・介護費の増大リスクの軽減などの観点から、世代を超えた難聴対策を充実させていく必要があるが、補聴器は高額で保険が適用されないため、購入者にとっては重い負担となっている。

国は現在、身体障害者手帳の交付対象となる重度・高度難聴の場合に限り、補聴器購入費用の一部を支給しているが、こうした課題に対応するため、支給対象とならない補聴器購入について、公的支援制度を構築するよう強く国に要望する。

旧比井小学校の跡地利用

11月29日、執行部から旧比井小学校の跡地利用について説明を受けた。

大洋化学株式会社と社会医療法人黎明会の2法人が、1事業者として応募があった。審査の結果、同事業者を優先交渉権者と決定した。

事業内容は、室内でのワサビ栽培とカフェ、日高町の特産品などを販売するミニ店舗の開設などを予定している。



ワサビ栽培風景（御坊市島）



榮 茂美 議員

ふるさと納税の増収策は 町長 納税しやすい環境づくりに努める



更なる返礼品の充実を望む

榮 令和元年度のふるさと納税件数と納税額は、未だ52件224万円と低調だったが、令和2年度には3609件4542万3千円と飛躍的に伸びた。その要因は何であったのか。

町長 ポータルサイトで扱う返礼品15種類が、令和元年度末には310種類、令和2年度末には571種類に増え、また令

和元年度末までは1カ所のみポータルサイトが、今年度では6カ所に増加させたことが要因であると考えられる。

榮 令和3年度のふるさと納税の状況はどうか。

町長 12月13日現在において、ふるさと納税申込件数1万4391件、申込金額9933万5600円である。

榮 日高町ふるさと納税1億円の目標突破も、目前となった。担当課はじめ関係者の方々が尽力して取り組まれた成果であり、私は高く評価する。

今後どう取り組むのか。

町長 返礼品の充実やポータルサイトの拡充など、寄付を行いやすい環境づくりに努める。

榮 具体的にどうするの

町長 返礼品の充実では、協定を結んでいる市町村の返礼品やプレミアム和歌山に登録されている返礼品を、日高町のポータルサイトに登録していきたい。

ポータルサイトの拡充においては、更なるポータルサイトの開設を、手数料・知名度やアクセス数などを検討していきたい。

榮 地場産の返礼品の状況はどうか。

町長 クエ鍋セット、サバコロッケ、渡船のチケット、温泉館の回数券、クエフルコース付き。ペア

宿泊券などを返礼品として登録しており、今後も充実に取り組む。

榮 日高町ふるさと納税応援事業者への応募状況はどうか。

総務課長 応募状況は、現在あまり進んでいない。

榮 日高町が今年度から導入した企業版ふるさと納税の状況はどうか。

町長 11月30日現在において1社から50万円の寄付をいただいた。

榮 日高町まち・ひと・しごと創生推進計画のどの取り組みに、その寄付を活用するのか。

町長 人口の減少を食い止め、人口を維持することを目標とした地方創生及び持続可能な町づくりの取り組みに活用したい。

榮 今年度からの一回10万円以上の寄付導入を案内すればどうか。

町長 日高町ホームページで広報している。

榮 日高町ふるさと納税

は、地域づくり推進事業基金に積み立てているが、その活用方法はどのようにするのか。

町長 経費を差し引いた寄付金の内、1割程度を基金に積み立て、残りは一般財源とし、寄付者から頂いた応援メッセージに基づき、子育てや学校教育、町づくりの財源にしている。

榮 日高町ふるさと納税寄付メニューを作成し、納税者自身が選べるようにすればどうか。

町長 今のところ作成の予定はない。

榮 ふるさと納税で日高町を応援してくれる人達との関わりを更に深めるために、ふるさと住民票の導入を検討してはどうか。

町長 現在のところ、導入の予定はない。

他の一般質問

- ・施設の有効利用で活気と魅力ある町づくりを
- ・飼い猫と飼い主のいない猫対策



井垣 弥 議員

町長選挙への出馬は 町長 正式に出馬表明する

井垣 2期目の松本町政では、誠実と実行をモットーとし、町政を推進させてきたと思う。

道路整備では、町内の県道整備が多くのところで実施されており、町道においても、第1学童保育所への国道からの進入路の拡幅改良がなされたところだ。

また、防災減災対策として、比井漁港集落道（比井の避難路）や砂防堰堤の整備等にも力を入れて取り組んでいる。

教育については、志賀小学校の増築や大規模改修に取り組み、学童保育においては、待機児童をいち早く解消するために保健福祉センター内に第3学童保育所を開設した。この施策について私は大変、評価する。

さらに、猛威を振っている新型コロナウイルスの対応策にも工夫を凝らし効果のある取り組みと、何と云ってもワクチン接種の対応については町職員一丸となって親切丁寧な対応で混乱なく2回の接種を実施すること



松本町長の力強い出馬表明

ができたこと、町民からも高い評価を頂いていると感ずる。

1期目に引き続き、2期目でも先に述べたような実績を残してきているが、まだまだ町長として実現したいこと、やり残

していることがあるのではないかと感ずる。

そこで、任期満了まで5ヶ月を切った今、3期目の町政を担う覚悟があるのか。

町長 一定の評価をいただき、大変ありがたく思っている。

特に職員には、昨年からコロナ禍の中、通常業務に追われながら、本当によく頑張ってくれていることに感謝する。

これまで5団体1地区から推薦、出馬要請をいただき、厚く御礼申し上げますとともに身の引き締まる思いである。

2期目はコロナ禍の影響で自粛を余儀なくされ公約の実現には道半ばだと思っている。

次期町長選挙に立候補し、私の考えについて町民に信を問う覚悟である。安心・安全な町づくりを目指す中、まだまだ防災、地方創生、県・町道路改良など多くの課題を残しており引き続き一層のスピード感を持って取り組みたい。

来年4月19日告示の次期町長選挙に正式に出馬表明する。

井垣 力強い出馬表明、大いに期待する。
道路整備について、新

築住宅への進入路・危険な通学路等の取り組みは、**町長** 命の道、暮らしの道は最も重要な課題であり、防災・生活・安全な通学路として整備促進していく。

井垣 新型コロナウイルス感染症対策についてはどうか。

町長 来年2月5日から保健福祉センターにおいて3回目のワクチン接種を行うよう準備を進めている。

希望されるすべての方が速やかに接種できるよう万全を期す。

また、状況に応じて、各種対策にもしっかりと取り組む。

井垣 1期、2期で終わることなく3期目の安定した行政運営を強く望む。

芝 充彦 議員

災害が危惧される西川の整備を 町長 積極的に県に要望していく



早急に浚渫及び改修が望まれる

芝 近年、わが町は住みよい日高町のモットーのもと、近隣市町から多くの人達に移り住んできており、人口の増加に伴い役場前そしてコメリ南側に多数の住家が増えてきている。

この住家のそばには西川が流れており、清水井橋から下流を見ると、

古くなっている石積や飛び飛びとなって中段部の所で張りコンクリートがしている状況で、川底には石が堆積し川底が上昇し、また両側には草木等が茂っていて川幅が大変狭くなっているといった状況を把握しているか。

町長 現状を把握している。

芝 このような状況で直近で河川の改修・浚渫工事が平成27年頃に行われて以降現在に至っており、その間工事が発注されていない現状である。

こうした中、近年の集中豪雨が継続的に起こると、たちまち河川の氾濫が起こる危険性があるが、

町長 近年の予期せぬ集中豪雨により、河川の氾濫や堤防の決壊が懸念されることは私も承知している。河床に堆積している土砂の浚渫等については、毎年、県に要望をしている。

芝 要望活動については誰が行っているのか。

産業建設課長 8月頃に毎年要望活動をしている。特に堆積が著しい所については、町長に直接行ってもらうような格好である。

芝 県への要望活動について、提案として、区長会はもとより高家区の西川愛護会を含めて一緒に陳情に行くという方法をとってはどうか。



年明けに西川の一部で浚渫工事が予定されている

町長 そうやって地元の方が県へ河川の要望に行ってくれるということが、それが一番県に対しても強く要望が出来る。是非ともそういう形をお願いしたい。

の工事が発注されるよう工夫を凝らしていただき、引き続き県に働きかけてもらいたい。

町長 河床の浚渫及び改修については毎年実現できるような引き続き積極的に要望していく。

芝 河川の氾濫や堤防の決壊が懸念される中、一遍には行かないが、町民への不安を除くためには出来る事なら毎年、西川



稲垣 崇 議員

遊休農地の対策を 町長 前向きに取り組む



早期の再耕作が必要な遊休農地

稲垣 私は、日高町の基幹産業の一つである農業について、平成30年第4回定例会において質問した。耕作をしていない農地が年々増えてきているように感じるが、3年が経過し、遊休農地の現状はどうなっているか。また、遊休農地の増加防止

に向けて、どのような対策を実施しているか。町では平成30年度以降、認定農業者・新規就農者の方を対象として農業機械の購入に助成を行っているが、現在まで何名がこの補助制度を利用したのか。**町長** 遊休農地の状況は、平成30年度以降も62ha前

後で推移しており、大きな増減はない。遊休農地の解消や、新たに遊休農地を増加させないための対策として、区画整理などの農業基盤の整備、中山間地域等直接支払事業・多面的機能支払事業などのハード事業や、認定農業者・新規就農者の促進、農業委員会や農地中間管理機構による農地利用集積事業の促進、農家への啓発活動などに取り組んでいる。

稲垣 農業機械の購入の助成については、平成30年度2件、令和元年度1件、令和2年度0件、令和3年度3件の申請があった。

稲垣 認定農業者になる要件は。

町長 農業経営基盤強化促進法に基づき、営農類型・経営改善方向の概要・経営規模の拡大等について5年後の目標を明記し、年間農業所得320万円程度を実現するため取り組んでいくもので、町の基本構想に照らし合わせて達成出来る計画かどうかを審査し、認定をす

る。認定対象者は基本的に性別や専業・兼業の別、年齢や経営規模の大小等を問わない。

稲垣 年間農業所得320万円程度は、かなりハードルが高いと思う。必ず達成しなければならぬのか。

産業建設課長 達成するように助言している。農家の方も努力しているので、引き続き認定農業者として認定している。

稲垣 達成していないことも、引き続き目標設定がされているれば、認定農家として認められるということが良いか。

産業建設課長 そのとおりである。

稲垣 認定農業者になることは、実際問題として難しいのではないかと思う。認定農業者でない農家も、利用集積により経営規模を拡大し、経営改善に取り組んでいる。利用集積事業を促進することで農家の収入増にも繋がるし、同時に遊休農地

の発生防止・解消も進むのではないかと思うが、利用集積をされている農家への積極的な支援も必要だと考える。

近隣町では、農業者の高齢化や担い手不足等による優良農地の遊休地化、特に水田の遊休地化は周辺農地や宅地へ与える影響が懸念されるとして、この水田を優良農地として保全するため管理者に対して補助を行っている。これも遊休農地の発生防止解消の一つの方法である。私は考えるが、町長はこの点についてどう考えるか。

町長 利用集積事業の促進は重要な施策であると考えており、農地を借り受け、経営規模の拡大と農地管理に取り組まれている農家に対して、何らかの補助を行っていくのも、一つの方法ではないかと考えている。

これについては、今後どのような支援が出来るか、前向きに研究をして取り組んでいきたいと考えている。

宮本 雅文 議員

わかりやすい広報を
町長 取り組んでいきたい

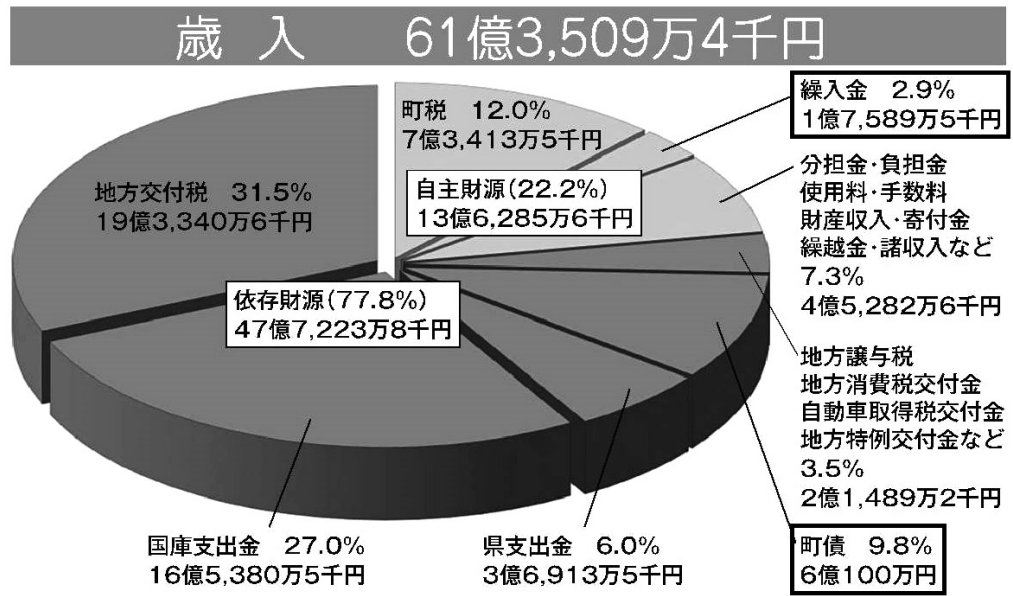


宮本 先日、京都市が財政破綻云々と言う事が報道され、市民の方は突然の報道に驚きと怒りをあらわにしていました。市民の方は全く知らなかった。寝耳に水だと言う事である。あり得ない事であるが、日高町でも同様の報道があれば町民の方は同じ反応をされると考えられる。

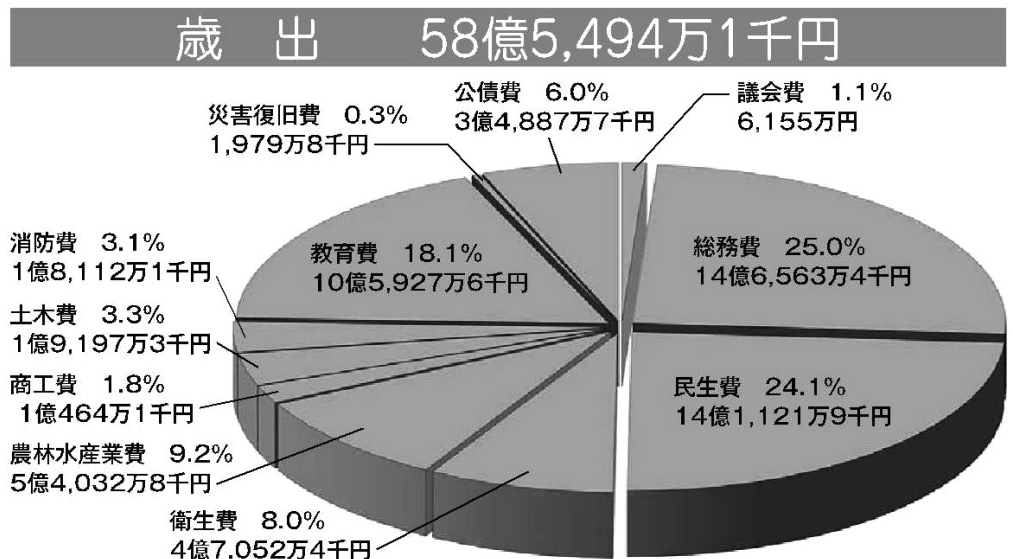
町は決算の状況を毎回広報誌で広報しており、毎年度、数億円黒字になっている。しかし、本当に額面通りなのか。公共団体の予算・決算には公債（借入）や財政調整基金（預金）の取崩しが収入として計上されている。

一般企業の決算は赤字になればその穴埋めを借入や、預金の取崩しで補うが、公共団体は国の会計基準に従い前もって穴埋めをするため、借入が出来なくなったり、取り崩す預金が無くならない限り赤字決算にはならない。一般企業会計ではこのような決算は到底、認められない。町民の方は

黒字と言えは黒字と判断するのではないか。決算報告に注釈を付ければ町民の方も実態がわかり、京都市のような事にはならないと考えるがどうか。



町長 民間企業の企業会計と地方自治体の会計制度は根本的に異なる。そのため広報誌に掲載している決算報告等の財政状況の公表については、町民の方に聞き慣れない



専門用語が多く含まれており、数値だけで実態が把握しづらい本質が伝わらない。

今後は専門用語の内容を性質を解説し、基金（預金）、地方債（借金）の状況等、他の財政指標と組み合わせながら公表するなど、内容の充実に努め、住民の皆さまがより分かりやすい広報のあり方について検討し、取り組んでいきたい。

『2億8千万円の黒字（令和2年度）』と掲載されている広報ひだか



西岡 佳奈子 議員

内原小学校の教室を増やして 教育長 将来的には増築も検討



児童の成長・発達を保障する学校施設に

西岡 内原小学校児童数は増え続け、2012年度266人から本年度当初で308人となっている。通常学級は毎年安定的に各学年2クラス、今年度の特別支援学級は3クラスとなっている。

現状のままで来年度以降の教室は確保できるか。教室の増設や改修など、児童の成長・発達を保障するための学校施設が必要だと思うがどうか。

教育長 内原小学校の学級数は普通クラスが12クラス、特別支援学級が3クラスである。来年度も同じクラス数を予定しているが、特別支援学級に入級する児童が増えるため、これまで会議室の転用やコンピュータ室の改修などで対応してきた。現在、来年度に向けて、より広い部屋を確保できないか検討している。

今後さらに特別支援学級入級児童の増加も想定し検討しなければならぬという考え。このことについては、家庭科教室や理科室などの特別教室の改修や増設も含め、同時に検討していきたい。

西岡 現時点でどう考えているか。
教育長 特別な支援を要する児童にとってどうかということを考えていかなければならない。増築も含めて将来的な教室の確保を考えていきたい。

ライフラインとしての水道

西岡 10月3日、和歌山市で水管橋の崩落という衝撃的な事故が起き、その影響は和歌山市の4割に当たる約6万世帯が約1週間断水するという大規模なものとなった。

町長 当町の施設で市民への影響が大きいと思われるものは22カ所、土地改良区の施設で当町と関連するものは5カ所ある。

西岡 点検の方法は。
町長 目視である。

西岡 和歌山市の事故では、目視点検を実施していたが崩落した。その事故の教訓を学んで取り組みを。また、土地改良区との日常的な情報の共有と連携を。
町長 気を引き締め、連携を深めて対応していきたい。

西岡 代替施設ということを考えたときに、御坊市や美浜町との連携、管路の接続なども必要ではないか。
町長 できるかどうかも含めて検討していきたい。

西岡 町長はどう考えるか。
町長 教育委員会の意見を聞きながら、学校の環境を整えていくことを検討していきたい。

西岡 管路のうち、水管橋の数は。

他の一般質問
農漁業者への燃料代支援を

委員会レポート

総務福祉常任委員会

増加する 電子計算費

10月18日委員会を開催し、総務課から電子計算費の執行について説明を受けた。

説明では、IT化やデジタル化に伴い年々その業務を拡大し、経費も増加の一途を辿っている。

経費が増加している要因は、その業務の拡大に伴って、セキュリティ対策や被災時のデータ保護などのための、クラウドシステムの導入などによるものであった。

委員からは、「システムの改修が必要になったとき、委託先が限定されるのではないのか」「国で規格を統一して経費を安くできないのか」「委託契約に先立つ、積算の根拠はどのようになっているのか」などの質問があった。

執行部からの答弁は、「システム改修は開発元が行うので、委託先は限定される。」「国で規格を統一する話はあるが、ベンダーの対応もあるため、直ちに効果が出るかは不透明である。」「公的な歩掛りなどの積算根拠は無く、見積りにより予算計上している。」であった。

電子計算費はIT化に伴う国の施策や、町民へのサービス向上に資するものが多くあり、複雑化する事務処理や複雑な作業を助けるためには必要不可欠なものであるが、その経費は一昔前からすると想像を超える規模に膨れ上がっている。厳しい財政状況を鑑みると、あらゆる可能性を模索して、その経費削減の努力を望むところである。

産業教育常任委員会

通学路の 安全性確保を

11月17日「各小中学校の通学路の安全性について」調査研究をおこなった。

当町では平成27年から「日高町通学路安全推進会議」を設置し、「日高町通学路交通安全プログラム」を策定している。

直近では、令和3年9月に見直しを行った。「推進会議」は、近畿地方整備局、日高振興局、御坊



狭い通学路（志賀地内）

警察署、学校長、育友会長、総務課、産業建設課教育委員会で、メンバーを構成している。「推進会議」では、各学校から上がってきた危険箇所の中から、重点課題を設定し、合同点検を行い、歩道の整備や防護柵の設置などハード面の対策や、交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など、必要に応じて実施メニューを検討しているとの事であった。

住宅が多く建てられ、通学路が増えている傾向であるとのことであった。

9月の「推進会議」での対策箇所一覧について説明を受けたが、千葉県で下校中の児童の列にトラックが突っ込むという痛ましい事故があり、文科省等からも通学路の見通しの良い道路も含め、精査するよう指導が来ているとのことである。

今回、視察を行ったなかで、特に下志賀バス停から中学校に向けての通学路は、町道長堤川原線を通り、狭い農道を自転車で走ることや、高低差のある河川、農地のそばを通学することは、危険であり、即対策を講じてもらいたい箇所であると委員からの指摘も多かった。

また現在、学校から産業建設課に対して、県道では、役場前南側への歩道整備の要望が、町道では、小中地区や下志賀地区など、道幅が狭く歩道が無いなど、道路拡幅の要望も上がっているとの事である。

編集後記

新年明けましておめでとございませう。

今年の干支は寅です。寅年は「成長」や「始まり」の年だそうです。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの生活に大きな影響を与え、いろんなことで皆さんもご苦労したかと思えます。しかし、一方でオンラインでの会議や授業、またワーキングなどの利用が広がりました。本年は、これらの新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になって欲しいものです。

稲垣 崇

